

THE
EFFECTS
COMPANY

Cirrus

Lowsmoke

シーラス・ロースモーク取扱い説明書

株式会社ギミック

操作説明

シーラスローSmokeは、高い水準を得るよう設計製作されており、もし後述するとおり正確に操作されれば、トラブルなく長期間使用できます。

動作原理

シーラスは、「スーパースモーク」マシンに接続し、液化炭酸ガス（CO₂）を使用することにより、Smokeを冷やし、床面レベルを這うドライアイス効果に似た煙を作ります。

シーラスとスーパースモークマシンは、電氣的にリンクさせることができ、通常のコントローラーで操作します。使用するSmoke液は専用液を使用しなくてはなりません。

電氣的な接続

IEC プラグ線が添付されており、電源に以下のように接続しなければなりません。

茶 = ライブ、青 = ニュートラル、緑 / 黄 = アース

*安全上、確実にアースすることが重要です。

A3 アンペアヒューズをプラグ部分に使用して下さい。

シーラスのセットアップ

- 1) シーラスをSmokeマシンに3本のマウントネジで結合させる。
- 2) CO₂ ボンベに接続する。(ホースネジを確実に締めること)
- 3) Smokeマシンからシーラス、シーラスからリモートコントローラーにリモートケーブルを接続する。
- 4) スーパースモークとシーラスを電源につなぐ。
- 5) 受け皿がガスケットシール(ゴムパッキン)に対し、しっかりと入っているか、ハンドル部がしっかりロックされているかを確認する。
- 6) CO₂ ボンベのバルブを開ける。
- 7) Smokeマシンが予熱終了(7-8分)次第、操作可能になります。

総合的な事項

CO₂

シーラスは、50気圧の液化炭酸ガス(サイホン付き)により作動します。他の炭酸ガス(低圧ガス等)は使用しないでください。6.35kgボンベで約9.5分、3.4kgボンベで約48分持続します。

CO2 ポンベの取付と取り外し

接続前 ホースナット内のパッキンが入っているか確認して、締め込んで下さい。(締め過ぎないように注意して下さい。) CO2 ポンベを開けた時、ホースのナットが十分に締まっているのに、結露や凍結する箇所があれば漏れのある証拠です。新しいパッキンに交換する必要があります。ホースを取り外す場合、まず中の圧力を全部抜いて下さい。もし、その作業を怠ると、ホースからの急激な放出が起こり、重大な「ホースホイップ(ホースの暴れ)」事故が起きます。

- 1) CO2 ポンベのバルブを閉める。
- 2) シーラスの電源は入ったままか確認する。
- 3) 本体上部の、「MANUAL O V E R R I D E」スイッチを押す。これによりホース内の CO2 ガスを抜く。
- 4) 数秒後、圧力計が「0」表示になり、ホース内のガスが抜けたことが分かる。
- 5) これでポンベを取り外す。

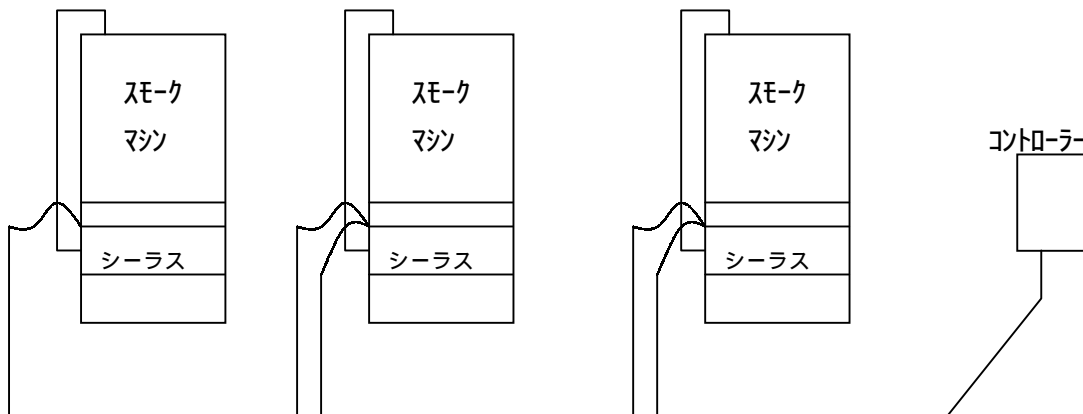
*常に、使用後はポンベのバルブを閉めて下さい。

低電圧コントロール/接続

シーラスのパネルに見られるように、スモークマシンのリモート出力をシーラスに接続し、シーラスから好みのコントローラーに接続する事により、スモークマシンのコントロール回路に連結して動きます。0 - 10V コントロールが使われている調光卓にも使用できます。スーパーモーク3000ターボのような、5pin 180° DINコネクタが使われている場合、普通に接続します。スーパーモーク1000のように、ステレオジャック/3芯ケーブルの場合、下記の様に変換ケーブルを作る必要があります。

| ジャックプラグ | DINピン番号 |
|---------|---------|
| スリーブ | 2 |
| リング | 5 |
| チップ | 3 |

シーラスは、下図の様に1つのコントローラーで複数の機械を操作できます。



すべてのマシンの配線は通常どおりですが、DINのソケット「FROM REMOTE CO

「CONTROL OR LOWSMOKE」部は、分配線や箱を経由させ、分配しなくてはなりません。

CO₂と電源は、それぞれの機械に必要です。

コントローラーの選択

スーパースモークを操作できるコントローラーなら、「スーパースモーク+シーラス」のセットで使用できます。たとえば、タイマー操作が必要なら、EC200やEC400Tで可能です。DMXコントロールシーラスは、弊社製のDMXコンバーターでも使用できます。

「CO₂ PRESSURE」インジケーター

シーラスの動作に必要なポンベの圧力（最低で30気圧/441psi）がかかっているかを表示しています。もし、LEDが消えた場合、シーラスは直ちに動作停止します。インジケーターはCO₂が気体か液体かを見分けるものではありません。

フィルター

インラインフィルターで、異物や切りクズなどが高圧インジェクターに入り、弁詰まりを起こすことがないように取り付けられています。時々、チェックする必要があります。フィルター部のキャップを再び締める際Oリングに注油してください。シーラスにガス圧力がかかっているときには絶対にフィルター部をさわらないでください。

手動/リモート補助手動装置の使用

重要 よく読んでください

ポンベのバルブを開け、補助手動スイッチ（「MANUAL OVERRIDE」）をしばらく操作すると、ポンベとシーラス間のホースの中が高圧の液化炭酸ガスに満たされます。その結果、シーラスの動作中には、その部分に、即冷効果が起こります。ガスが流れずある時間が経つとホース中の液体ガスは温められて気化していきますので、操作前に簡単にホース内を再び満たしてやるのがベストです。これで、コントローラで操作した場合、CO₂の流れとスモークの流れとを同時に起こさせることができます。事前にガスを通しておかなければならない場合としては、

- 1 シーラスをセットしたとき
- 2 シーラスの操作間隔が空くとき
- 3 CO₂のポンベが空に近くなったとき

などです。

多くの場合、必要ありません。リモートの場合コントローラー（LS50）があり、本体の「MANUAL OVERRIDE」スイッチの代わりに使用できます。「POWER ON」,「CO

2 F L O W」を表示する L E Dも付いています。

スモークマシンとの結合

スモークマシンを立て、シーラスの後方に合わせ 3 本のネジを締めます。古い機械では、M 5 のタップやパイソを使ってネジ山をきれいにしておけば、作業しやすくなります。

結合前にスモークマシンの出力部がまっすぐにシーラスに入っていくか、確認してください。

(例；出力チューブが曲がっていないか等)

ロックアウト

シーラスは、ある条件で動作停止します。

- 1 C O 2 の圧力が不十分なとき
- 2 スモークマシンが低温になり動作停止したとき
- 3 スモークマシンの液がなくなり、ボトルカットアウトが作動したとき

C O 2 ボンベの空表示

これは、スモークが突然立ち昇ったり、シーラスの出力側の温度を手で感じてみて、確認します。

もしスモークが暖かい場合は、新しいボンベが必要です。

ハイパワーマシンとの組み合わせ

シーラスは、標準として「スーパースモーク」と使用するよう設計されています。もし、高出力のスモークマシンと使用する場合、ボリュームコントロールを下げシーラス内部を通過する量を減らしてください。専用液を使っても、湿った液状のスモークがでないことを確認してください。

専用液

エフェクトカンパニーの専用液のみシーラスに使えます。この液は、低い位置に漂い、立ち昇る前に消えるよう他の液と異なり高い水準をえるよう調合、製造されています。

ターボ操作

シーラスは、スーパースモークターボマシンとも使用できます。したがって、ロースモークに巻き雲効果を付加するような空気の流れを追加できます。

ダクティングアダプタ

このオプションは、シーラスの前面にネジ付け：5 1 mmのダクトを接続できるようにします。短くすれば、中間距離用として使用できます。又、単体でロースモークの特別な噴出口として

も使えます。ダクトは、雑音の問題が発生した場合にも使用できます。詳しい説明は、アダプタの取扱説明書に記載してあります。

コンデンセートトレイ

これは、液溜りで通常チェックしなければなりません。シーラスの移動時などには、空にしておく必要があります。常にマシン下のガスケットシール部に密着するようにしてください。これを怠るとその部分から漏れを生じます。オプションでパーマネントドレイントレイがあります。これは、恒久的な液抜きを行います。(手の届きにくい場所に設置した場合など)

常設

シーラスを常設するような場合、ポンベの集合装置を設置することをお勧めします。ポンベをまとめてつなぐことで、ポンベ交換の頻度を減らすことができます。シーラスとポンベ間のホースはできるだけ短くしてください。(タイムラグをなくするため)集合装置は、4本接続できるものが用意されています。

良好な動作のためのヒント

- ・ シーラスの面倒を見る - なるべくフライトケースに入れて保管、輸送する
- ・ 液が零れていたら、すぐに拭き取る、上部の基板部に入っていないかを確認する。
- ・ コンデンセートトレイが、割れたり変形していないかを確認する。 - ガスケットシールを無効にし漏れを起こします。
- ・ 隙間風などのない安定した空気中で、最良の効果が得られる。
- ・ すべての内部パーツ(ケース、ネジ)は、ステンレス製でメンテナンスの必要はない。
- ・ ロースモーク効果は、ボリュームを下げさらに冷やしてやることにより、得られる場合もある(スモークマシンの出力を減らす)
- ・ 冷えたCO₂ポンベは、良好な効果を生み出します。

メンテナンス

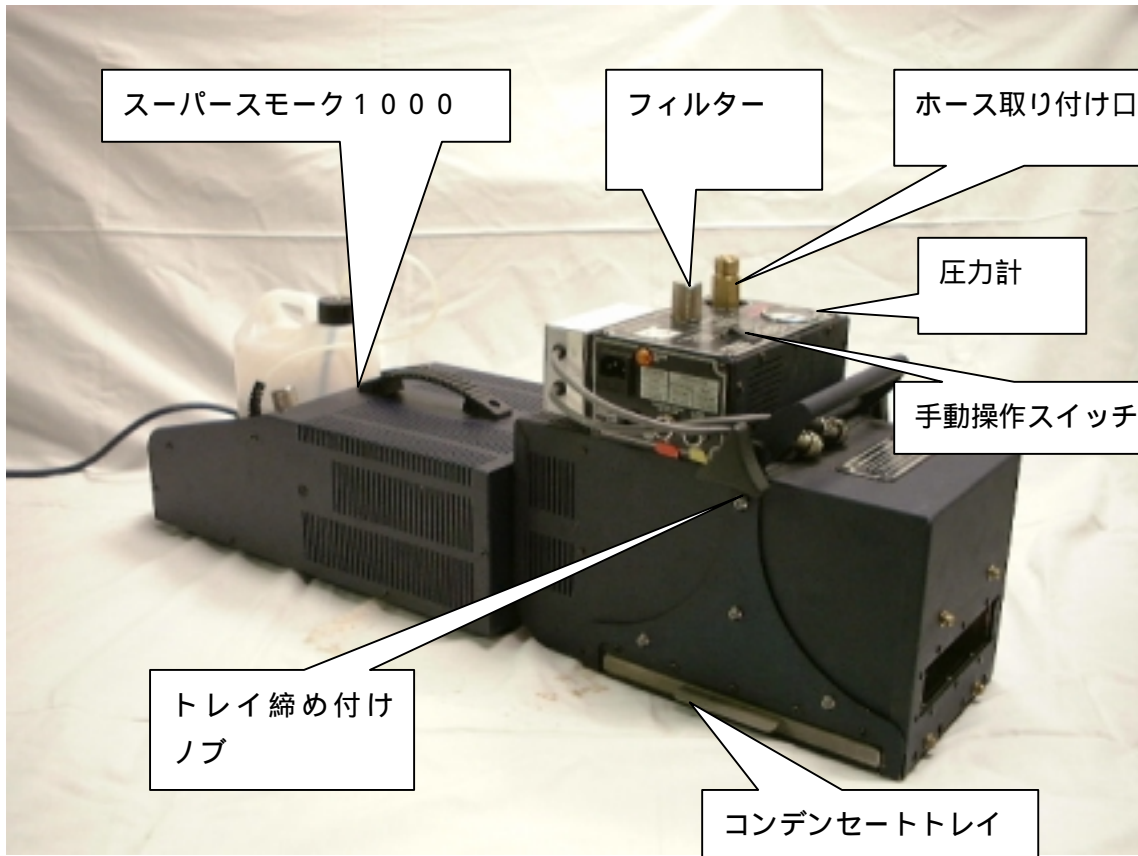
メンテナンスは、適当な資格のある人が行ってください。シーラスの圧力システムは50気圧下で動いており、間違ったことをすれば非常に危険です。エフェクトカンパニー社の部品以外を代替に使用しないでください。

健康と安全

シーラスのユーザーは、CO₂ガスの安全な使用法と条件、高圧ガスポンベの取り扱いについて熟知する必要があります。

故障かなと思ったら

| 問題 | 対処 |
|--|--|
| ・「MAIN「S ON」ランプが点かない 点滅する | 電源、外のヒューズをチェックする。リード線をチェックする。プリント基板のヒューズをチェックする。 |
| ・[CO2 PRESSURE] LEDが点かない マシンが動かない | 1. CO2 ポンベの圧力低下、あるいは、ポンベのバルブが閉まっている。 2. ポンベが冷えすぎて圧力が低下している。 |
| ・コントローラーが使用可能にならない ・LEDが点灯しない | 1. コントローラのプラグ、ケーブルが壊れていないかチェックする。 2. スーパーSmokeのボトルカットアウトが作動していないか（ボトルが空になっていないか）確認する。 |
| ・他の電氣的故障 | 1. シーラスのソケットにDINプラグが正常に接続されているか確認する。 2. プリント基板部の故障の可能性あり |
| ・ロースモークは出るが出たとたん舞い上がってしまう | ポンベ中の液体が空になって、気体が流れている。ポンベを新しいものに交換する。 |
| ・過度の液溜りがコンデンセートトレイにできる | 間違った液を使用している。Smokeマシンが確実に発煙しているか確認する。 |
| ・シーラスのケースの外側に霜がつく | 1. 低温状態で動いている（Smokeボリュームを上げる） 2. Smoke液が尽きている 3. Smokeマシンが壊れている。たとえボリュームが最大になっていても、押さえられた出力で動いている。 |
| ・下側からもれてくる | コンデンセートトレイが、ガスケットシールに対し密着していない。よく締め付け、プラスチックノブをしっかりと締める。トレイが変形していないか状態を見る。 |
| ・霜付、CO2 漏れがフィルターキャップの周りに起きる | 1. クローム製のノブがしっかりと締めてあるかみる。 2. 新しいOリングに交換する。 |
| ・Smokeマシンは動いている、がシーラスの効果がでない。他の表示は全て正常である。 | 1. フィルターのつまりを確認する。 2. 内部で詰っている可能性あり（電磁弁等） |
| ・漏れ / 霜付がポンベのバルブ付近でおきる | 1. ホースのナットが締まっているか確認する。 2. ホースのパッキンを確認 / 交換する。 |



ダクティングアダプタ